

## ▶ 私たち廃棄物バスターズについて

廃棄物バスターズは2005年に設立した滋賀県内の廃棄プラスチック問題を解決するために立ち上がった環境団体です。メンバーは滋賀県立大学工学部材料化学科の有機複合材料研究室と環境科学部環境生態学科の学生で構成されています。



## ▶ 発足後 廃プラスチックのマテリアルリサイクルを促進し、新しい環境モデルを提案

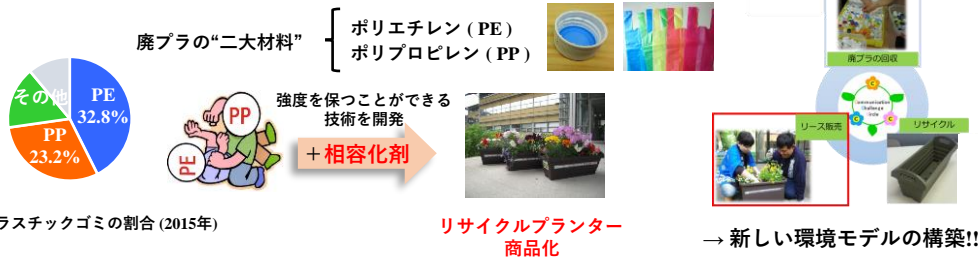
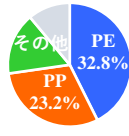


図. プラスチックゴミの割合 (2015年)



プランターだけでは、廃プラの消費が追いつかない...

◇ 日常生活

- ・園芸
- ・打ち水
- ・洗濯用水

◇ 非常用水

1世帯1日の必要量: 15 L

約2週間水が使用可能

**雨水タンク**

を各ホームダムとして設置

◇ 災害防止

- ・ゲリラ豪雨
- ・浸水被害

防止!!

◇ 意識改革

- ・水資源への興味・関心

雨水タンクの設置による新たな環境モデルの構築

## ▶ 事業内容

雨水タンク

学びでつながる場の創造

彦根市清掃活動

hana-wa活動

## 雨水タンク事業



### 背景

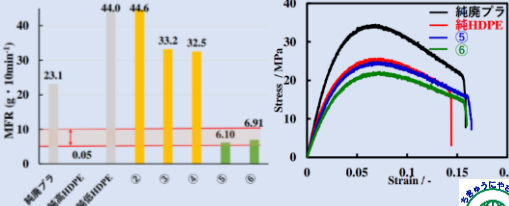
より多くの廃プラを用いたモノづくり

### 目的

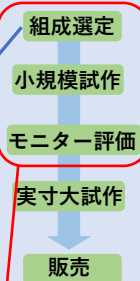
100Lの実寸大雨水タンクの試作し実際に使用

組成選定基準: 廃プラ 50%以上ブレンド、成形加工に適した粘度(MFR=5~10)

○ 粘度評価 (5~10が目標)



### 開発の流れ



2023年度実施項目



## hana-wa活動

### 背景

過去: プランターを開発・販売

プランターを用いて何かできないか?

新たな労働形態の提案  
『hana-waプロジェクト』

### 組織形態

#### 児童施設

- ・きらめき
- ・はばたき
- ・ぼほハウス

2018年度の回収量  
約3万5千個(70kg)

#### 大学と障害者施設

- ・むつみ園
- ・きらら
- ・いしづみの家
- ・にっこり



障害者の雇用問題

- ・賃金の改善
- ・他者とのふれあい
- ・自立した労働形態

働くやる気や体力はある  
→ 働き口がない



場所: 菩提寺PA、大津SA

作業内容

- ・花の植え替え
- ・プランター交換
- ・草花メンテナンス

障害者の方々と協力

→ 働きがい、賃金の上昇

### キャップ回収・分別



年々、回収量の増加  
→ キャップ回収の文化が根付いてきた

### メンテナンス



## 学びでつながる場の創造



### 事業内容

イベントや清掃活動を通じて、プラスチックに関する知識を得る機会を作っています。主に研究会への参加や、学校を訪問し教育活動を行うなど、自ら学び、正しい知識を伝えることで、学びを通じコミュニティを築くことを目標にしています。



### 研究会への参加

SGN...Shiga Green 活動 Network

SL2...Shiga Local SDGs 研究会

定期的にこれらの会議に参加しています  
→ 新たな知識、知見を得ています

### 教育活動の実施

東京から修学旅行で滋賀を訪れた中学生に、マイクロプラスチック問題などの環境問題について学んでもらいました

## 彦根市清掃活動

### 事業内容

HIKONEクレイ隊と共に清掃活動を行っています。定期的に彦根市街地のゴミ拾いをする他、様々なイベントで美化活動や運営の補助をしています。



### 彦根市清掃活動

毎月、HIKONEクレイキャンペーン隊とごみ拾いをしています

毎月 第2日曜日、第4日曜日  
彦根駅前、彦根市立図書館

また、荒神山公園春祭りなどのイベントに参加し、美化啓発活動を行っています

→ 彦根の街をきれいにしています



### ゆるキャラ博実行委員会

ゆるキャラ博...全国のご当地キャラが一堂に会するご当地キャラの祭典



- ・実行委員会議に参加
- ・ゴミ分別啓発活動
- ・ゴミ拾い

→ 地域の人たちとの関わりや団体の宣伝活動を行うことができた